

国営施設機能保全総合対策事業
令和 7 年度 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

[illegible]

九州農政局

事業名	国営施設機能保全総合対策事業
業務名	令和7年度 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 1号 ***					
S02115	技術員					
	技術員		人	36,700		歩A・単A
	*** S単－ 2号 ***					
S63003	1-1.資料の検討					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,6.00人,6.00人,4.00人		式	1,215,000		歩A・単A
	*** S単－ 3号 ***					
S63003	2.施設補修更新優先度の整理					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,7.00人,10.00人,11.00人,12.00人		式	1,980,900		歩A・単A
	*** S単－ 4号 ***					
S63003	3.施設整備計画の検討					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,6.00人,10.00人,11.00人,12.00人		式	1,918,300		歩A・単A
	*** S単－ 5号 ***					
S63003	4.施設整備図の作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,4.00人,4.00人,4.00人		式	781,000		歩A・単A
	*** S単－ 6号 ***					
S63003	5.概算工事費算定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,4.00人,4.00人,2.00人		式	707,600		歩A・単A
	*** S単－ 7号 ***					
S63003	6.事業効果					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,11.00人,16.00人,16.00人		式	2,639,900		歩A・単A
	*** S単－ 8号 ***					
S63003	7-1.環境配慮の基本方針(案)の策定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,4.00人,6.00人,6.00人		式	1,064,600		歩A・単A
	*** S単－ 9号 ***					
S63003	7-2.説明資料及び議事録の作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,5.00人,6.00人,7.00人		式	1,213,200		歩A・単A
	*** S単－ 10号 ***					
S63003	8.事故防止事業計画書(案)の作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,4.00人,12.00人,16.00人,16.00人,18.00人		式	3,164,200		歩A・単A
	*** S単－ 11号 ***					
S63003	9.特別仕様書(案)の作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,4.00人,7.00人,4.00人,4.00人		式	1,125,000		歩A・単A
	*** S単－ 12号 ***					
S63003	10.照査					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	212,700		歩A・単A
	*** S単－ 13号 ***					
S63003	11.点検取りまとめ					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,6.00人,6.00人,6.00人		式	1,163,200		歩A・単A
	*** S単－ 14号 ***					
S63007	1-2.現地調査					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,0.00人,0.00人		式	365,600		歩A・単A
	*** S単－ 15号 ***					
S63007	1-3.施設管理状況の確認					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,0.00人,0.00人		式	223,800		歩A・単A
	*** S単－ 16号 ***					
S63007	移動に伴う基準日額(現地調査時)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.62人,0.62人,0.62人,0.00人,0.00人		式	113,336		歩A・単A
	*** S単－ 17号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.22日		回	96,120		歩A・単A
	*** S単－ 18号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.22日		回	80,568		歩A・単A
	*** S単－ 19号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成					
	電子納品版業務報告書作成 1,A-4,800,8cm,0		式	10,986		歩A・単A
	*** S単－ 20号 ***					
S63031	《打合せ(設計旅費・交通費)》					
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	3,600		歩A・単A
	*** S単－ 21号 ***					
S63031	《打合せ(設計旅費・交通費)》					
	《打合せ(設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	3,600		歩A・単A

九州農政局

事業名	国営施設機能保全総合対策事業				
業務名	令和7年度 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S02115	技術員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04007	技術員	1,000	人	36,700	36,700	
	合 計				36,700	算出数量 1,000 人
	単 価				36,700	
	*** S単一 2号 ***					
S63003	1-1.資料の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,6.00人,6.00人,6.00人,4.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	2.00人				
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師	2,000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)	6,000	人	62,600	375,600	
R04005	技師 (B)	6,000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C)	6,000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員	4,000	人	36,700	146,800	
	合 計				1,215,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,215,000	
	*** S単一 3号 ***					
S63003	2.施設補修更新優先度の整理		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,7.00人,10.00人,11.00人,12.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	2.00人				
	4)技師Aの人数	7.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	11.00人				
	7)技術員の人数	12.00人				
R04003	主任技師	2,000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)	7,000	人	62,600	438,200	
R04005	技師 (B)	10,000	人	49,300	493,000	
R04006	技師 (C)	11,000	人	42,500	467,500	
R04007	技術員	12,000	人	36,700	440,400	
	合 計				1,980,900	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,980,900	
	*** S単一 4号 ***					
S63003	3.施設整備計画の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,6.00人,10.00人,11.00人,12.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				

事業名	国営施設機能保全総合対策事業
業務名	令和7年度 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	11.00人				
	7)技術員の人数	12.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		6.000	人	62,600	375,600	
R04005	技師 (B)					
		10.000	人	49,300	493,000	
R04006	技師 (C)					
		11.000	人	42,500	467,500	
R04007	技術員					
		12.000	人	36,700	440,400	
	合 計				1,918,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,918,300	
	*** S単一 5号 ***					
S63003	4.施設整備図の作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,4.00人,4.00人,4.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
		4.000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)					
		4.000	人	42,500	170,000	
R04007	技術員					
		4.000	人	36,700	146,800	
	合 計				781,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		781,000	
	*** S単一 6号 ***					
S63003	5.概算工事費算定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,4.00人,4.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
		4.000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)					
		4.000	人	42,500	170,000	
R04007	技術員					
		2.000	人	36,700	73,400	
	合 計				707,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		707,600	
	*** S単一 7号 ***					
S63003	6.事業効果		式		1.000 式	歩A 当たり算出

事業名	国営施設機能保全総合対策事業
業務名	令和7年度 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,11.00人,11.00人,16.00人,16.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	11.00人				
	5)技師Bの人数	11.00人				
	6)技師Cの人数	16.00人				
	7)技術員の人数	16.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		11.000	人	62,600	688,600	
R04005	技師 (B)					
		11.000	人	49,300	542,300	
R04006	技師 (C)					
		16.000	人	42,500	680,000	
R04007	技術員					
		16.000	人	36,700	587,200	
	合 計				2,639,900	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,639,900	
	*** S単一 8号 ***					
S63003	7-1.環境配慮の基本方針(案)の策定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,6.00人,6.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
		4.000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)					
		6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員					
		6.000	人	36,700	220,200	
	合 計				1,064,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,064,600	
	*** S単一 9号 ***					
S63003	7-2.説明資料及び議事録の作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,5.00人,5.00人,6.00人,7.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	7.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		5.000	人	62,600	313,000	
R04005	技師 (B)					
		5.000	人	49,300	246,500	
R04006	技師 (C)					
		6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員					
		7.000	人	36,700	256,900	
	合 計				1,213,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,213,200	

事業名	国営施設機能保全総合対策事業				
業務名	令和7年度 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 10号 ***					
S63003	8.事故防止事業計画書(案)の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,4.00人,12.00人,16.00人,16.00人,18.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	12.00人				
	5)技師Bの人数	16.00人				
	6)技師Cの人数	16.00人				
	7)技術員の人数	18.00人				
R04003	主任技師					
		4.000	人	70,900	283,600	
R04004	技師 (A)					
		12.000	人	62,600	751,200	
R04005	技師 (B)					
		16.000	人	49,300	788,800	
R04006	技師 (C)					
		16.000	人	42,500	680,000	
R04007	技術員					
		18.000	人	36,700	660,600	
	合 計				3,164,200	算出数量 1,000 式
	単 価		式		3,164,200	
	*** S単一 11号 ***					
S63003	9.特別仕様書(案)の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,4.00人,7.00人,4.00人,4.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	7.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師 (A)					
		4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
		7.000	人	49,300	345,100	
R04006	技師 (C)					
		4.000	人	42,500	170,000	
R04007	技術員					
		4.000	人	36,700	146,800	
	合 計				1,125,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,125,000	
	*** S単一 12号 ***					
S63003	10.照査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	70,900	212,700	
	合 計				212,700	算出数量 1,000 式
	単 価		式		212,700	
	*** S単一 13号 ***					
S63003	11.点検取りまとめ		式		1,000 式	歩A 当たり算出

事業名	国営施設機能保全総合対策事業				
業務名	令和7年度 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務				

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,6.00人,6.00人,6.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	2.00人 4.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	6.00人 6.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師 (B)					
		6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C)					
		6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員					
		6.000	人	36,700	220,200	
	合 計				1,163,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,163,200	
	*** S単一 14号 ***					
S63007	1-2.現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	2.00人 2.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	2.00人 0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
	外業	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
	外業	2.000	人	49,300	98,600	
	合 計				365,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		365,600	
	*** S単一 15号 ***					
S63007	1-3.施設管理状況の確認		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.00人 2.00人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	2.00人 0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)					
	外業	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
	外業	2.000	人	49,300	98,600	
	合 計				223,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		223,800	
	*** S単一 16号 ***					
S63007	移動に伴う基準日額 (現地調査時)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.62人,0.62人,0.62人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	0.62人 0.62人		深夜時間:0.0		

事業名	国営施設機能保全総合対策事業				
業務名	令和7年度 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)技師Bの人数	0.62人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	0.620	人	70,900	43,958	
R04004	技師 (A)					
	外業	0.620	人	62,600	38,812	
R04005	技師 (B)					
	外業	0.620	人	49,300	30,566	
	合 計				113,336	算出数量 1.000 式
	単 価		式		113,336	
	*** S単一 17号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.22			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.220日				
R04003	主任技師					
		0.720	人	70,900	51,048	
R04004	技師 (A)					
		0.720	人	62,600	45,072	
	合 計				96,120	算出数量 1.000 回
	単 価		回		96,120	
	*** S単一 18号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.22日			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.220日				
R04004	技師 (A)					
		0.720	人	62,600	45,072	
R04005	技師 (B)					
		0.720	人	49,300	35,496	
	合 計				80,568	算出数量 1.000 回
	単 価		回		80,568	
	*** S単一 19号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	1, A - 4, 800, 8cm, 0			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	A - 4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)枚数区分(枚)	800		深夜時間:0.0		
	4)厚さ区分	8cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43496	報告書焼付代 (コピー)					
	A - 4以下 800枚	1.000	部	10,200	10,200	
P43543	簡易加除式ファイル					
	A 4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	786	786	
P43602	C D - R					
	C D - R (記録面色素フタロシアニン) 700MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				10,986	算出数量 1.000 式

事業名	国営施設機能保全総合対策事業
業務名	令和7年度 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		10,986	
	*** S単一 20号 ***					
S63031	《打合せ（設計旅費・交通費）》		回		1,000	歩A 当たり算出
	《打合せ（設計旅費・交通費）》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般 交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金（税別）	0円				
	10)鉄道往復1人当料金（税別）	1,800円				
	11)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	12)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	13)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	14)ライトバン使用日数	0日				
	16)宿泊料金1式当料金（税別）	0円				
	17)宿泊手当1式当料金（税別）	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,800	3,600	
	合 計				3,600	算出数量 1.000 回
	単 価		回		3,600	
	*** S単一 21号 ***					
S63031	《打合せ（設計旅費・交通費）》		回		1,000	歩A 当たり算出
	《打合せ（設計旅費・交通費）》 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関, 0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金（税別）	0円				
	10)鉄道往復1人当料金（税別）	1,800円				
	11)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	12)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	13)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	14)ライトバン使用日数	0日				
	16)宿泊料金1式当料金（税別）	0円				
	17)宿泊手当1式当料金（税別）	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,800	3,600	
	合 計				3,600	算出数量 1.000 回
	単 価		回		3,600	
	*** S単一 22号 ***					
S63034	《旅費交通費（設計外業務宿泊）》		式		1,000	歩A 当たり算出
	《旅費交通費（設計外業務宿泊）》 ライトバン,2日,4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)交通機関区分	ライトバン				
	2)高速道路往復料金（税別）	7,110円				
	3)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	4)バス往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	6)航空往復料金[全員分合算]（税別）	0円				
	7)ライトバン使用日数	2日				
	8)時間区分	4時間				

九州農政局

九州農政局

令和 7 年度 国営施設機能保全総合対策事業
諫早湾地区事故防止事業計画策定業務

特別仕様書

農林水産省 九州農政局

北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条

令和7年度 国営施設機能保全総合対策事業 諫早湾地区事故防止事業計画策定業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第1-2条

本業務は、諫早湾干拓事業において造成された潮受堤防北部排水門、南部排水門及び調整池排水施設についての現状を確認、各種調査を実施するとともに、事故防止のための事業計画を策定するものである。

(場 所)

第1-3条

業務位置は、長崎県諫早市及び雲仙市地先で、別添位置図に示すとおりである。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-4条

本業務の受注に当たり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

1. 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
2. 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
3. その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
4. 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第1-5条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 受注者は、作業実施の順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

(管理技術者)

第1-6条

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に

係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学 農業－農村地域計画 機械－機械設計等 建設－鋼構造及びコンクリート
	農業	農業土木 農業農村工学 農業－農村地域計画
	機械	機械設計等
	建設	鋼構造及びコンクリート
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティン グマネージャ	農業土木	
	鋼構造及びコンクリート	

(照査技術者)

第1－7条

1. 照査技術者は、共通仕様書第1－7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	業－農業土木 農業－農業農村工学 農業－農村地域計画 機械－機械設計等 建設－鋼構造及びコンクリート
	農業	農業土木 農業農村工学 農業－農村地域計画
	機械	機械設計等鋼
	建設	構造及びコンクリート
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティン グマネージャ	農業土木	
	鋼構造及びコンクリート	

2. 本業務における照査は、「設計業務照査の手引書(案)」(以下「照査手引書」という。)に基づき実施する。また、「照査手引書」に基づく照査により作成した資料は、共通仕様書第1－7条5項に規定する報告書に含めて提出するものとする。
3. 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第1－8条

担当技術者は、共通仕様書第1－8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1－9条

共通仕様書第1－11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1－12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- (1)受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2)農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1－10条

受注者は、共通仕様書第1－37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2－1条

設計の基本事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

名 称	発行所	制定(改訂)年月
農業農村整備事業計画作成便覧	農業農村整備事業計画研究会	平成 15 年8月
鋼構造物計画設計技術指針(水門扉編)	(一社)農業土木事業協会	平成 21 年3月
電気設備計画設計技術指針(高低圧編)	農林水産省農村振興局	令和元年9月
土地改良事業の費用対効果分析マニュアル	大成出版社	令和7年4月
環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針	農林水産省 HP に掲載	平成 27 年5月
環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き、同第2編	農林水産省 HP に掲載	平成 15 年3月

(設計条件)

第2－2条

設計作業における設計条件は、次のとおりである。

1. 設計基本条件

(1) 北部排水門

- 1) 設 備 名 称 北部排水門
- 2) 形 式 フローティングタイプ

- 3) 数 量 6門
- 4) 純 径 間 33.35m
- 5) 扉 高 9.0m
- 6) ゲート敷高 EL(-)4.00m
- 7) 開 閉 方 式 電動ワイヤーロープ ウインチ式(2M2D)
- 8) 操 作 方 式 機側・遠方
- (2) 南部排水門
 - 1) 設 備 名 称 南部排水門
 - 2) 形 式 フローティングタイプ
 - 3) 数 量 2門
 - 4) 純 径 間 25.00m
 - 5) 扉 高 9.0m
 - 6) ゲート敷高 EL(-)4.00m
 - 7) 開 閉 方 式 電動ワイヤーロープ ウインチ式(2M2D)
 - 8) 操 作 方 式 機側・遠方
- (3) 調整池排水施設
 - 1) 設 備 名 称 調整池排水施設
 - 2) 排 水 量 10 万m³/日 (0.386m³/sec/台)
 - 3) 揚 程 10.9m
 - 4) 形 式 φ 450mm 立軸斜流ポンプ
 - 5) 数 量 3台
 - 6) 電 動 機 かご形三相誘導電動機、出力 55.9kw、電圧 440V、周波数 60Hz
2. 外海側水位条件
 - (1) 設計高潮位(H.H.W.L) (+)4.90m
 - (2) 朔望平均満潮位(H.W.L) (+)2.50m
 - (3) 朔望平均干潮位(L.W.L) (-)2.90m
- 3 調整池水位条件
 - (1) 調整池設計洪水水位 (+)2.20m
 - (2) 調整池管理水位 (-)1.00m
 - (3) 調整池操作下限水位 (-)1.20m

(参考図書)

第2－3条

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2－1条によるほか次表によるものとする。

名 称	発行所	制定(改訂)年月
水門鉄管技術基準(水門扉編)	(一社)電力土木技術協会	令和4年 11 月
水門鉄管技術基準(水圧鉄管・鉄鋼構造物編, 溶接・接合編)	(一社)電力土木技術協会	令和6年9月
ダム・堰施設技術基準(案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成 28 年3月
水門・樋門ゲート設計要領(案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成 13 年 12 月
ゲート用開閉装置(機械式)設計要領(案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成 12 年8月
河川砂防技術基準(案)同解説・設計編	(社)日本河川協会	平成9年 10 月
コンクリートのひび割れ調査, 補修・補強指針-2022-	(公社)日本コンクリート工学会	令和4年6月
コンクリート標準示方書(設計編)	(公社)土木学会	令和5年3月
コンクリート標準示方書(施工編)	(公社)土木学会	令和5年9月

コンクリート標準示方書(維持管理編)	(公社)土木学会	令和5年3月
--------------------	----------	--------

(貸与資料等)

第2-4条

貸与資料は次のとおりである。

番号	分類	貸与資料	数量
1	業務報告書	平成28年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 諫早湾地区水門施設他機能診断業務	1式
2		平成29年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 諫早湾地区水門設備機能保全計画作成業務	1式
3		令和5年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 諫早湾地区潮受堤防機能保全検討業務	1式
4		令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 諫早湾地区排水門機能保全検討業務	1式
5		令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 諫早湾地区排水門上屋他機能保全検討業務	1式
6		令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 諫早湾地区排水門変電所他機能保全検討業務	1式
7		令和7年度 環境調査結果とりまとめ業務	1式
8	その他	諫早湾干拓 潮受堤防施設管理図	1式
9		国営造成土地改良施設整備事業 佐賀中部地区 環境配慮の基本方針	1式
10		国営羊角湾土地改良事業(干拓)における環境配慮の基本方針	1式
11		その他、参考となる資料等	1式

(参考図書及び貸与資料の取扱)

第2-5条

第2-3条及び第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙1作業項目内訳表に示すものとする。

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1式	
2. 施設補修更新優先度(事故兆候)の整理	1式	
3. 施設整備計画の検討	1式	
4. 施設整備図の作成	1式	
5. 概算工事費算定	1式	
6. 事業効果	1式	
7. 環境配慮の基本方針(案)の策定	1式	
8. 事故防止事業計画書(案)の策定	1式	
9. 特別仕様書(案)の作成	1式	
10. 照査	1式	
11. 点検取りまとめ	1式	

(設計作業の留意点)

第3-2条

設計作業の実施に際し特に留意する点は、以下のとおりである。

1. 事業対象施設は別紙3を想定しているが、貸与資料や施設管理者への確認結果から、追加が必要と判断される施設については、対象へ追加しても構わない。
2. 事業効果については、基本事業等の経済性の評価結果等を用いた簡便的な手法により本事業の経済性(土地改良法施行令(昭和24年政令第295)第2条第1項第3号の要件)を判断するものとし、国営事故防止事業計画書(案)における効用については定性的な記載を想定している。
3. 事業効果における被害額の算定については、人命又は財産への被害やこれらの被害を最小限とするための応急工事費、暫定的な機能確保のための現地仮復旧費用及び作物被害を防止するための番水、用水の反復利用に係る営農経費等の追加費用などを想定しており、以下により算定するものとする。

(事業なかりせば想定される事故等による被害や追加費用)／(当該事業費)

なお、効果算定及び事業費の単価年度は令和7年度とする

4. 環境配慮の基本方針(案)の策定に当たって、基礎調査は過年度成果に基づき整理を行うこととしているが、事前に長崎県、諫早市、雲仙市の環境に係る法律や条令、計画(田園環境整備マスタープラン等)の内容確認を行うこと。
5. 環境配慮が必要な事項については工事による一時的な騒音と振動及び海域、調整池への資材落下等を想定している。
また、環境配慮の基本方針(案)については既存の検討会の委員(有識者)2名からの意見を聴取することとしているが、委員からの意見を踏まえて、意見聴取する有識者を追加する可能性がある。
6. 事故防止事業計画書(案)の策定に当たって、事業目的は監督職員から別途指示を行うこととしており、受益面積は基本事業の672haとする。
7. 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
8. 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
9. 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
10. 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
11. 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関する新技術や新工法等の選定に当たっては、農業農村

整備民間技術情報データベース(NNTD)、農業水利施設保全補修ガイドブック 2024((一社) 農業土木事業協会発行)及び新技術情報システム(NETIS)等を積極的に活用しなければならない。

- ・農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)については、
<https://nn-techinfo.jp/> を参照。

- ・農業水利施設保全補修ガイドブック 2024 については、
<https://www.jagree.or.jp/publication/books/no9/>を参照。

- ・新技術情報システム(NETIS)については、
<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照。

12. 数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。

なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。

- ・「工事工種の体系化」は、
https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/を参照。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3－3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化及び写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

1. 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「機器等」という。)は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

2. 機器等の導入

(1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

(2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3. 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

(1) 受注者は、1.の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

(2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案) 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

(3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4. 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。なお、受注者は納品時にURL(https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5. 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 設計作業着手の段階

第2回 中間打合せ(施設整備計画の検討段階)

第3回 中間打合せ(環境配慮の基本方針(案)の策定段階)

第4回 中間打合せ(事故防止事業計画書(案)の策定段階)

最終回 報告書の原稿作成段階

全ての打合せ場所については、北部九州土地改良調査管理事務所(久留米市荒木町白口 891-20)にて実施するものとする。

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成 果 物

(成 果 物)

第5-1条

成果物を設計業務共通仕様書第1-17条及び「設計業務等の電子納品要領(案)機械設備工事編」に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体(CD-R 等)正副2部
2. 成果物の出力1部(電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

(開示用成果物の作成及び提出)

第5-2条

第5-1条に記載している成果物(PDF ファイル)に含まれる、行政機関の保有する情報の公開に関する法律における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

なお、「不開示情報」とは、別紙2のとおりである。

1. 開示用成果物の電子媒体(CD-R 等)1部。

(成果物の提出先)

第5-3条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

長崎県諫早市高来町金崎字浜ノ道 1 4 9 - 6

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 環境調整課

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第 17 条から第 20 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

1. 第2-2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
2. 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
3. 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
4. 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
5. 履行期間の変更が生じた場合
6. 関係機関等対外的協議により設計計画等に変更が生じた場合
7. その他

(業務スライドの試行)

第6-2条

1. 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて(試行)」(令和7年 12 月 17 日付け7農振第 2167 号農村振興局整備部設計課長通知)(URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」)に基づく試行業務である。
2. 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から 12 月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不適当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
3. 発注者又は受注者は、2.の規定による請求があったときは、変動前残業務費(業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。)と変動後残業務費(変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。)との差額のうち変動前残業務費の 1000 分の 15 を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。
4. 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から 14 日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。

5. 2.の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、2.の規定の「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。

6. 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不相当となったときは、発注者又は受注者は、2～5の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。

7. 6.の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から 14 日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。

8. 4.及び7.の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。

ただし、発注者が2、6の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。

9. 業務スライドの試行に係る運用については、1.に記載の通知に基づくものとする。

第7章 定めなき事項

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項または本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1 作業項目内訳表】

作 業 項 目	作 業 内 容	数 量
1. 準備作業		
(1)資料の検討	貸与資料及び設計に必要な資料内容を整理・把握する。	1式
(2)現地調査	貸与資料等に基づき現地調査を行う。	1式
(3)施設管理状況の確認	別紙3と貸与資料に基づき、施設の管理状況及び更新状況について、施設管理者への聞き取り等による確認を行い、整理する。	1式
2. 施設補修更新優先度(事故兆候)の整理	1.の結果に基づき、施設の補修更新の優先度や事故兆候及び補修更新の必要理由について整理する。	1式
3. 施設整備計画の検討	2.の結果に基づき、施設整備計画及び必要事業工期を検討する。	1式
4. 施設整備図の作成	貸与資料と3.の結果から施設整備図を作成する。	1式
5. 概算工事費算定	3,及び4.を踏まえて、工事数量表を整理し、概算工事費を算定する。	1式
6. 事業効果	事業の施行によって生ずる効果について以下の算定と分析を行う。 本事業を実施しなかった場合に発生が想定される事故による掛かり増しの支出及び被害額の算定。 本事業後、計画的に更新事業が実施された場合における、更新事業の経済性の定量的な分析。	1式
7. 環境配慮の基本方針(案)の策定		1式
(1) 環境配慮の基本方針(案)の策定	過年度の環境関係の成果(貸与資料)を基に、環境配慮の基本方針(案)を策定する。 項目は別紙4を参考に作成することとする。	1式
(2)有識者への意見聴取に係る説明資料及び議事録の作成	環境配慮の基本方針(案)について、発注者側で選定した学識経験者2名への意見聴取として説明資料を作成し、発注者に同行して、補足説明及び議事録の作成を行う。(詳細は別紙5)	1式
8. 事故防止事業計画書(案)の策定	上記結果及び貸与資料を基に事故防止事業計画書(案)を策定する。 項目は別紙6を参考に作成することとし、併せて事業概要説明資料及び補足説明資料を作成する。	1式
9. 特別仕様書(案)の作成	8.の補修更新対象施設毎(工事毎)に特別仕様書(案)を作成する。	1式
10. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1式
11. 点検取りまとめ	各設計項目の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1式

【別紙2 不開示情報】

不開示とする情報	該当項目	該当条項
個人に関する情報 及び法人その他団体に関する情報	記述等により特定の個人を識別することができる情報 1. 受注者氏名 2. 個人及び会社の印影 3. 各種調査結果に記載された調査員等の氏名 4. 打合せ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名 5. 図面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等 6. 顔写真 7. 技術提案書等の当該法人の知的財産に関する情報 8. IP アドレス等機器の接続情報 9. その他（公にすることにより個人、会社の権利利益を害する恐れのある情報）	行政機関の保有する情報の公開に関する法律 第 5 条第一号及び 第二号イ

【別紙3 対象想定施設一覧】

北部排水門(6門)	南部排水門(2門)	調整池排水施設
【ピア外設備】 12 カ所(2カ所/門) ・主ローラ ・サイドローラ ・ロッカービーム ・付帯設備 【ピア内設備】 12 カ所(2カ所/門) ・電動機、電磁ブレーキ ・予備電動機、電磁ブレーキ ・油圧押上ブレーキ ・切替装置 ・減速機 ・制限開閉器、開度計 ・軸継手 ・付帯設備	【ピア外設備】 4カ所(2カ所/門) ・主ローラ ・サイドローラ ・ロッカービーム ・付帯設備 【ピア内設備】 4カ所(2カ所/門) ・電動機、電磁ブレーキ ・予備電動機、電磁ブレーキ ・油圧押上ブレーキ ・切替装置 ・減速機 ・制限開閉器、開度計 ・軸継手 ・付帯設備	3基 ・ポンプ ・原動機 ・吐出し弁 ・付帯設備
(北部受変電所)	(南部受変電所)	
【発電機設備】 1カ所 ・発電機 ・自動始動発電機盤 ・始動用直流電源盤 ・付帯設備 【電気設備】 1カ所 ・引込盤 ・受電盤 ・主変圧器盤 ・電源切替盤 ・440V動力盤 ・210V動力盤 ・照明盤 ・制御用直流電源装置 ・受電所動力分電盤 ・受電所照明分電盤 ・付帯設備	【発電機設備】 1カ所 ・発電機 ・自動始動発電機盤 ・始動用直流電源盤 ・付帯設備 【電気設備】 1カ所 ・引込盤 ・受電盤 ・主変圧器盤 ・電源切替盤 ・440V動力盤 ・210V動力盤 ・照明盤 ・制御用直流電源装置 ・受電所動力分電盤 ・受電所照明分電盤 ・付帯設備	

【別紙4 環境配慮の基本方針(案) 項目一覧】

I. 地区概要と地域環境の概要

- 1 地区の概要
- 2 事業の概要
 - (1)前歴事業の概要
 - (2)本事業の概要
 - (3)整備対象施設位置図
- 3 地域環境の概況
 - (1)地域環境の概況
 - (2)環境に係る地域指定等
- 4 環境情報図

II. 調査結果と配慮すべき環境要素

- 1 動植物の生息・生育状況と注目すべき生物種の設定
 - (1)動植物の生息・生育状況
 - (2)注目すべき生物種の選定
- 2 環境調査図

III. 環境配慮の基本方針と配慮方策

- 1 環境配慮の基本方針
- 2 想定される事業による影響とその程度
- 3 環境配慮の方策
- 4 環境計画図

IV. 環境配慮の検討体制等

- 1 地区段階における検討内容等

【別紙5 有識者への意見聴取に係る詳細】

項 目	内 容
1. 有識者について	・意見聴取を行う有識者は、佐賀市内在住1名、長崎市内在住1名を想定している。
2. 有識者への意見聴取について	・意見聴取はそれぞれ1回ずつ、時間は2時間程度を想定している。 ・場所は、それぞれ佐賀市内、長崎市内を想定している。
3. 学識経験者等への支払いについて	・学識経験者2名への謝金は受注者から支払うものとする。

【別紙6 国営事故防止事業計画書(案)項目一覧】

(記載様式、記載要領は「土地改良施設突発事故復旧・防止事業(直轄)実施要領」別記様式第2-2号を参照)

項目	表番号	記載要領	備考
第1章 目的		事業の目的を簡潔に記載する。	監督職員から別途指示
第2章 地域及び地積			受益面積は672ha(基本事業)
第1節 地域		地域とは、本事業の施行に係る地域をいい、○○県○○市、○○郡○○町と全ての関係市町村名を記載する。	
第2節 地積	第1表	地積とは、本事業によって受益する土地の面積をいう。 1. 面積は、土地登記簿を原則とするが、それ以外の土地登記簿の情報を反映させていることが明確である各種公的書簿を利用して面積を求めている場合は、土地登記簿に準ずる根拠資料として取り扱うものとする。また、土地登記簿等から面積が得られないものについては、実測又は図測等で面積を計測するものとする。なお、備考欄に引用した根拠資料名、計測方法等について記載する。 2. 市町村別に区分しにくい場合は、市町村名を記載し、面積は一括してもさしつかえない。 3. 単位は1ha までとする。	
第3章 一般計画			作業項目 2
第4章 対象施設の状況		工事の対象となる施設の概要及び工事を必要とする理由を記載する。	作業項目 2
第1節 排水施設 1 排水水門 2 排水機 3 その他排水施設	第2表-1 第2表-2	造成工期及び造成工事費の欄は基本事業(当該事業の対象となる施設を造成した事業)計画について記入する。	
第2節 その他の施設			
第3節 周辺環境			
第5章 主要工事計画			作業項目 3
第1節 要旨		工事計画の概要を記載する。	
第2節 排水施設 1 排水水門 2 排水機	第3表-1 第3表-2	工事の工法、構造、数量等について記載する。	

3 その他排水施設			
第3節 その他の施設			
第6章 附帯工事計画			作業項目 3
第7章 工事の着手及び 完了の予定時期			作業項目 3
第8章 環境との調和へ の配慮			作業項目 7
第9章 事業費の総額 及び内訳		総額及びその内訳を記載する。内訳は、主要工 事費、付帯工事費及びその合計額を記載する。	作業項目 5
第 10 章 効用※		事業の施行によって生ずる効果について記述 する。	作業項目 6
第 11 章 関連する事業 1 基本事業 2 維持管理事業 3 その他の関連事業		当該事業の対象となる施設を造成した国営事業 の概要を記載する。	作業項目 1
第 12 章 現況・計画図 面 1 現況平面図 2 計画平面図 3 主要構造図 4 図面目録		縮尺5万分又は2万5千分の1地形図を用いる。 縮尺5万分又は2万5千分の1地形図を用いる。 主要施設(主要工事計画)の構造を表示する。	作業項目 4

※基本事業による効用を継続的に発揮させるための計画的な更新事業が予定される地区であり、かつ、事業費の総額が 10 億円未満の場合に限り、基本事業等の経済性の評価結果等を用いた簡便的な手法により本事業の経済性及び受益者負担の可能性(土地改良法施行令(昭和 24 年政令第 295)第2条第1項第3号及び第4号の各要件)を判断するとともに、それぞれ定性的な記載としてもよい。

※表番号は、参考:国営事故防止事業計画書(案) 表様式による。

(参考:国営事故防止事業計画書(案) 表様式)

(○年○月現在)(第1表)

市町村名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	計 (ha)	備考
	(合計)				

(第2表-1)

水路名	流域 面積	計画		排水本川			管理 受託者	管理受託 年月日	受益 面積	基本事業			備考
		排水量	地区内 たん水深	名称	計画 洪水量	計画 洪水位				造成工期	造成 工事費	受益 面積	
	m ³ /s								ha	～	千円	ha	
工事を必要とする理由													

(第2表-2)

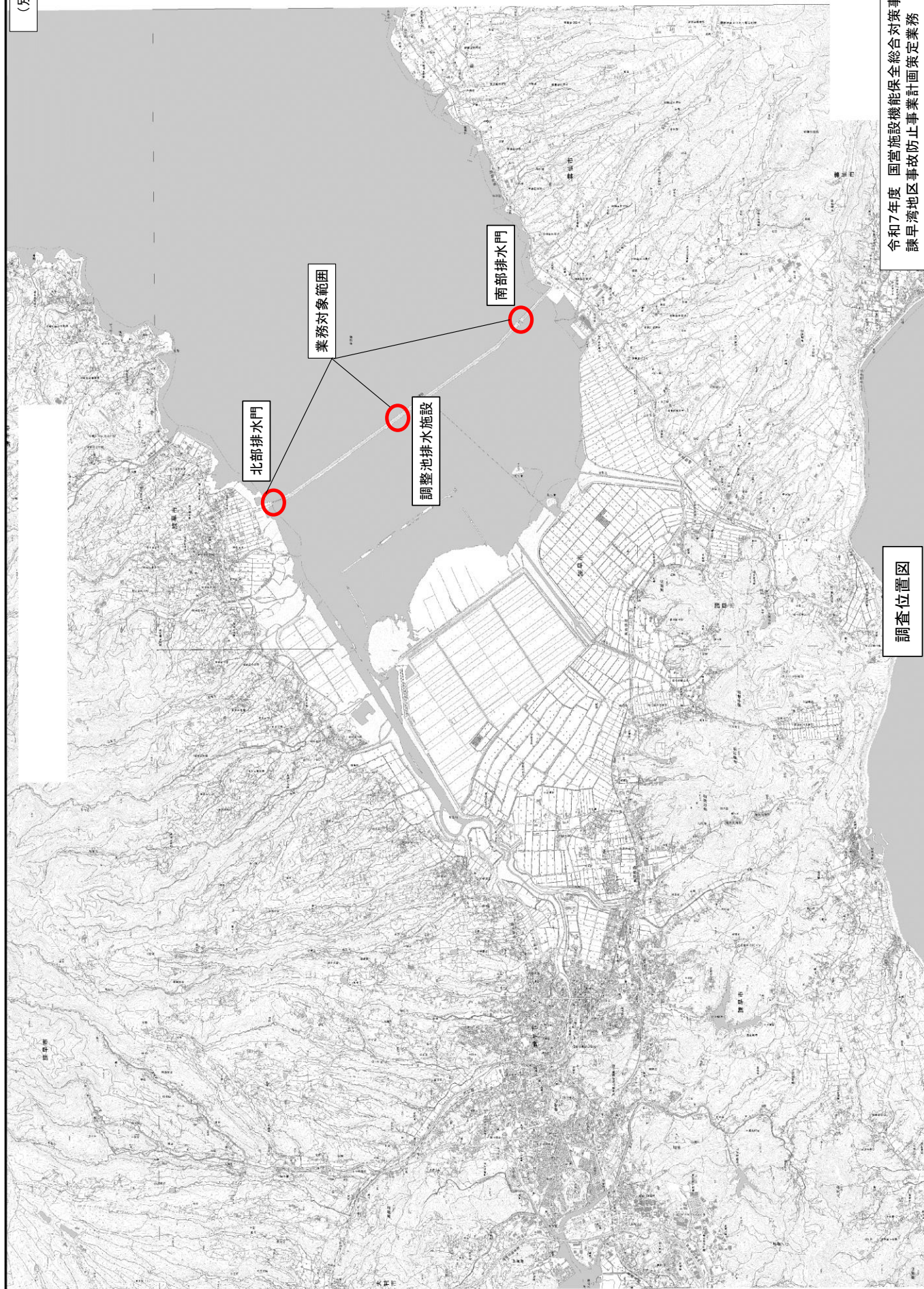
名称		関係河川名				位置		管理 受託者	管理受託 年月日	受益 面積	基本事業			備考	
ポンプ						原動機					その他 施設	造成工期	造成 工事費		受益 面積
型式	台数	口径	揚水量	実揚程	運転時間	種類	動力								
		mm	m ³ /s	m	hr/日		KW PS				～	千円	ha		

(第3表-1)

改修ヶ所	改修工事内容		備考
	構造	数量	
扉体			
機械設備			
電気設備			
受変電所			
管理施設			

(第3表-2)

改修ヶ所	改修工事内容		備考
	構造	数量	
ポンプ			
原動機			
吸水槽			
建屋			



調査位置図